

ごあいさつ

「アジア ビジネス コンパス」 の創刊に寄せて



一般財団法人 ひょうご経済研究所

理事長 尾野俊二

巻頭言

ひょうご経済研究所は1983（昭和58）年に設立し、兵庫県内の経済・文化などの情報を発信する季刊「ひょうご経済」の発刊のほか、県内経済調査や相談業務、講演会などに取組んでまいりました。

30年以上の歴史を積み重ねることができましたのは、ひとえに皆さまのあたたかいご支援とご支持をいただけてきたからにはかなりません。

ここに厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、私どもは、季刊「ひょうご経済」の別冊としてアジア情報誌を創刊する運びとなりました。

この情報誌は、兵庫県を中心に活動する企業に、ダイナミックに変容するアジアの「動向」とそこでビジネスを行うのに必要な「情報・ノウハウ」を提供することを目的としています。

誌名は、多くの候補の中から「アジアでのビジネス展開の羅針盤」となるよう「アジアビジネスコンパス」と決めました。

「アジアビジネスコンパス」はアジアでのビジネスを視野に入れ、各号テーマを絞り、アジア経済の動向等を専門的立場から体系的にまとめた格調高い論文と、より実務的で有用性の高い論文で構成し、分かり易く解説してまいります。

また、私どもは、現地の感覚・目線に立った記事に多くのスペースを割こうと考えています。

アジア各地の最前線で活躍するビジネスマンにレポーターになっていただき、定期的に濃密で迫力のある「現地情報」を提供してまいります。

ほかに、アジアに進出した企業を訪問して、経営をとりまく環境や課題、問題を解決するヒントなどをお聞きかせいただき掲載いたしました。

兵庫県とアジア各国・地域との係わりは、「アジアへの入り口」のコーナーで県内団体の企画・イベントの紹介を、また、「アジアの県人」のコーナーでは、アジアで活躍する兵庫県人を紹介いたします。

各国・地域のゴルフ場情報や奇形・絶景を紹介するブレイクタイムも設けました。

これからも「アジアビジネスコンパス」はアジアの「わくわくする面白さ」をお届けしてまいります。

この情報誌が、アジア地域に関するビジネスマンや企業、研究者、官公庁などの国際業務担当者の必携の誌となることを願っております。

読者の皆さまにおかれましては、「アジアビジネスコンパス」に対し、忌憚のないご意見をいただき、また関心を持ち続け、共に育てていただければ幸いです。

最後に、これからも皆さまに愛され、有意義な機関誌を発刊する研究所であり続けるよう職員一同努力してまいります。